

| |
|-------------------|
| ◎平成29年度事業運営の特徴と課題 |
|-------------------|

1. 各介護保険事業の状況

(1) 利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------|
| 特別養護老人ホーム % | 96.2 | 96.7 | 96.2 | 96.2 | 95.9 | 94.9 | 91.0 | 91.9 | 94.4 | 96.8 | 95.3 | 95.2 | 95.1% (100.8人) |
| ショートステイ % | 131.7 | 140.0 | 118.0 | 133.2 | 136.5 | 138.3 | 148.7 | 152.7 | 150.0 | 132.6 | 142.1 | 131.0 | 137.9% (13.8人) |
| 特養/SS合計 % | 99.2 | 100.5 | 98.1 | 99.4 | 99.4 | 98.6 | 95.9 | 97.1 | 99.2 | 99.9 | 99.4 | 98.3 | 98.7% (114.5人) |
| デイサービス (一般) 人数 | 38.7 | 38.0 | 39.4 | 38.3 | 36.9 | 38.7 | 38.6 | 35.9 | 38.8 | 37.2 | 39.3 | 37.7 | 38.1人 |
| デイサービス (認知) 人数 | 11.1 | 12.0 | 11.3 | 12.5 | 13.0 | 13.5 | 13.0 | 13.2 | 12.8 | 11.2 | 12.0 | 12.7 | 12.4人 |
| デイサービス 合計 人数 | 49.8 | 49.9 | 50.8 | 50.8 | 50.0 | 52.3 | 51.6 | 49.0 | 51.6 | 48.4 | 51.3 | 50.4 | 50.5人 |
| 居宅 ケアプラン 数 | 73 | 72 | 76 | 75 | 75 | 72 | 68 | 68 | 62 | 66 | 64 | 66 | 69.8件 |
| 包括 予防プラン 数 | 421 | 426 | 435 | 437 | 426 | 423 | 440 | 444 | 445 | 445 | 451 | 445 | 436.5件 |

(2) 特別養護老人ホーム／介護老人福祉施設の利用状況 (定員 106名)

年間利用人数は36,774名(100.8人/1日)でした。入退所の状況は、新規入所者が30人(昨年比85.7%)、退所者が31人(昨年比100.0%)でした。30年3月31日時点の平均年齢は、男性が82.6歳(昨年比+0歳)、女性が88.4歳(昨年比-0.7歳)で、最高年齢は102歳(女性)です。また、平均要介護度は3.79で、要介護3以上の入所者が全体の91.3%(昨年比+0.4%)でした。「看取り介護」は24人(昨年比104.3%)実施しました。

(3) ショートステイ／短期入所生活介護の利用状況 (定員 10名)

年間利用人数は5,033人、年間稼働率は137.9%でした。昨年より676人、稼働率で18.5%減少しています。29年度は、上半期は特養稼働率が高く空きベッドが減少したことなどによりショートステイの稼働は低下しましたが、例年通り困難事例も積極的に受け入れ、利用ニーズに最大限対応しました。

(4) デイサービス／通所介護事業の利用状況 (定員一般40名、認知22名)

年間利用人数は15,601人。1日平均利用人数は一般デイ38.1人、認知症デイ12.4人、合計50.5人でした。昨年より年間918人増加しました。一般デイでは編み物・麻雀・カラオケ・脳トレ・折り紙・習字・絵手紙・趣味活動やレクリエーション等、複数のメニューを用意し、ご利用者に毎日3種類程度の中から自由にお選び頂いています。個別機能訓加算Ⅰ、運動器機能向上加算を算定し、理学療法士と看護師を中心に実施し、レクリエーションの中にもリハビリを取り入れました。生活機能向上を目的とした体操と、身体機能維持を目的とした小グループ・個別での訓練を行いました。

認知症デイでは、ご利用者に安心して過ごして頂けるよう家庭的な雰囲気づくりを心掛けています。活動には、自宅で行っている掃除や皿洗いの家事等も取り入れて自立支援につなげています。また、認知症進行予防になるように回想法や音楽療法等のサービス提供も行いました。

(5) 居宅介護支援事業

管理者 1 人、ケアマネジャー 2 人、合計 3 人体制で運営しています。ケアプラン数は介護予防を含めて 1 ヶ月平均 65.6 件でした。居宅介護支援事業所の運営には、最新の制度情報の収集やケアマネジャーのスキルアップが必要となるため、外部研修の参加等により制度の理解や専門性を高めるようにしています。また、高齢者あんしんセンターとの連携によって困難事例の対応や相談支援業務も行っています。

2. 北区委託事業

(1) 高齢者あんしんセンター事業（地域包括支援センター）

平成 20 年度から北区より受託して 10 年目になりました。常勤 6 人、予防プラン作成担当非常勤職員 4 人、事務職の非常勤 1 人の体制で運営しています。29 年度は、電話対応、窓口対応、訪問での相談件数は予防プラン関係を除き約 9,000 件を超えている状況です。予防プランの件数は年間約 5,200 件(月平均 436 件)で昨年比 103.8%でした。

高齢者あんしんセンターの担当圏域内高齢化率は約 42%、高齢者数 7,000 人という状況で、一人暮らしの方も多いために、今後も相談件数もさらに増加すると考えられます。また、老朽化した 2 ヶ所の大規模な集合住宅とその立て替えにより、他の地域から転居される高齢者も増加しています。さらに、昨年 5 月より地域公益活動として近隣の商店街の空き店舗を地域の高齢者、子育て世代などの交流場所「桐ヶ丘サロンあかしや」を運営しています。さらに 29 年度は、ニッセイ財団より地域福祉チャレンジ活動助成金対象となり、区内の大学と連携しながら地域課題抽出のための調査を開始しています。

(2) 高齢者住宅事業

現在高齢者住宅 2 棟、計 50 戸に対して、各 1 人の生活援助員（L S A）を配置しています。高齢者住宅 2 棟の生活援助員による活動状況は、訪問 427 件、警報機対応 25 件、家事援助 6 件、不在対応 6 件、相談 1 件、小口修理 2 件、その他 298 件でした。不在対応の内訳は入院時の対応がほとんどです。また、その他は、介護援助要素の強い方の呼び出しや対応、住宅供給公社、北区等との調整事項です。なお、生活援助員はコミュニティー支援、ケース会議にも参加しています。

(3) 北区認知症高齢者一時保護事業

北区内での迷子老人の保護施設として事業参画して 7 年目になりました。29 年度は、依頼件数が増加し、保護実績として 5 件で、延べ日数では 11 日間の一時保護を行いました。

北区立特別養護老人ホーム桐ヶ丘やまぶき荘